

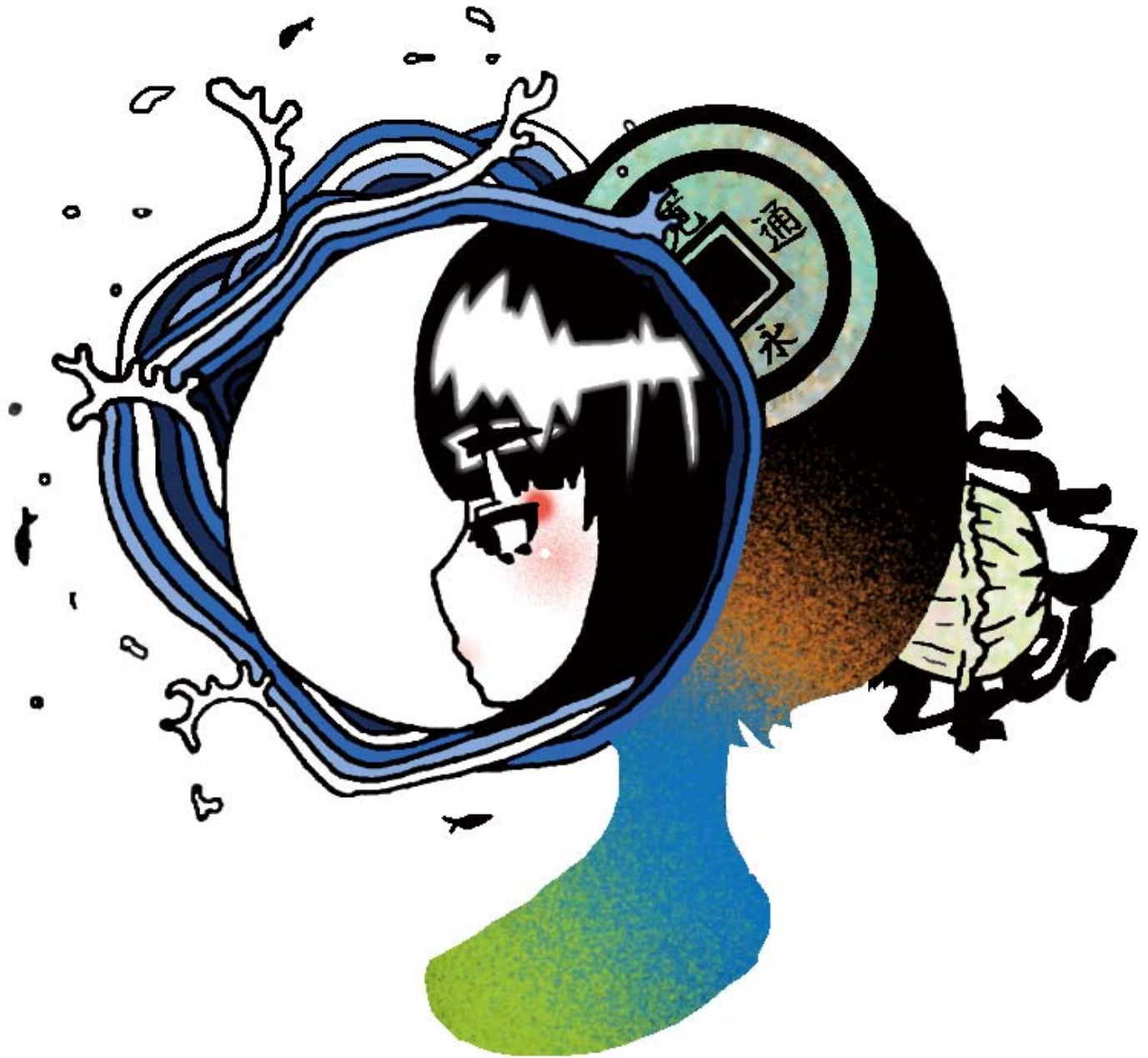


観音寺市議会だより
Kanonji City Council No.10 2016.8.1




ミライエ

観音寺の輝く未来へ
市議会の動きをわかりやすくお伝えします



平成28年度一般会計補正予算を原案どおり可決
一般質問から見える市の課題
8月25日 市民フォーラム開催

表紙：観音寺中央高等学校 美術部 2年 高木保帆さん

 [検索](#) [観音寺市議会](#)



4月臨時会

(継続審査分) 議案第51号 平成28年度 観音寺市一般会計補正予算(第1号)を 可決

歳入・歳出ともに8,830万円を減額し、補正後の予算総額を294億9,170万円とするものである。

主な補正予算の内容

教育費の文化芸術拠点施設整備事業を9,805万5,000円減額

3月定例会において、平成28年度観音寺市一般会計予算を可決したが、文化芸術拠点施設整備事業において、諸事情により土地建物の取得が不可能となったため、当該整備事業費を削除する。

議員問責決議案を可決

3月定例会において、文化芸術拠点整備事業が委員会採決後にも関わらず、私文書を持って購入予定の土地建物所有者である企業を訪問した。その後、当該企業は市へ物件の売却意思を撤回してきた。

この行動は、当該企業に対する圧力ともとられかねない行為である。市政を混乱させ、議会制民主主義を冒瀆するものであり、看過することはできない行動をとったとして高橋照雄及び五味伸亮議員の2名に対する問責決議案が賛成多数で可決された。

臨時会が、4月22日に開かれた。当局提出議案の専決処分承認4件を、各常任委員会に付託し審査した後、4件とも承認され、継続審査となっていた一般会計補正予算も、原案どおり可決された。

また、議員に対する問責決議案が2件提出され、可決された。定例会が、6月6日から24日まで19日間の会期で開かれた。

一般質問は、13日、14日合わせて12名が、市政について質した。当局提出議案は、条例関係、一般会計補正予算、その他が1件提案された。議案を各常任委員会に付託し、審査した。

議案は全て、最終日に原案どおり可決・同意された。



6月定例会

平成28年度観音寺市一般会計補正予算（第2号）を可決

歳入歳出ともに2億3,179万9,000円を追加し、補正後の予算総額を297億2,349万9,000円とするものである。

主な補正予算の内容

●子育て支援施設整備事業 5,091万9千円

旧萩原小学校校舎1階を改修し、年齢に応じて子どもが遊んだり、学んだりすることが出来る遊び場を提供するとともに、子育てに関する相談や援助等を行う子育て支援の拠点として整備するものである。



▲旧萩原小学校

●新市民会館建設事業追加分 7,084万8千円

想定以上に地下水位が高く工事箇所の水位を下げる排水対策に1,500万円、LED照明への変更に2,000万円、総合監視盤の監視項目に800万円、消防設備に500万円などを追加。



▲建築中の新市民会館（5月末段階）



▲小ホール（左） 大ホール（右）



▲1階ロビー大階段

●のりあいバス購入事業 1,925万9千円

バリアフリー車両の整備（更新）

のりあいバス ▶



▲第一ポンプ場

●公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結 4億5,281万円

観音寺市公共下水道観音寺第1ポンプ場建設工事（長寿命化事業計画に基づく機械設備及び電気設備の更新）の委託に関する協定を承認した。協定の相手方は、地方共同法人 日本下水道事業団。



茂 諒問

ロコモティブシンドローム
(運動器症候群)について

答 弁 様々な健康長寿に向けた取り組みを行っている

【質問】骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えると、暮らしの中の自立度が低下し、介護が必要となったり、寝たきりになる可能性が高くなる。

群馬県中之条町では、ロコモティブシンドロームに強い身体になるために、65歳以上の高齢者5000人を対象に13年間という長期に渡り、研究が行われた。

その結果に基づき、一日に8000歩、20分の速歩がうつ病、認知症、心疾患、脳卒中、骨粗鬆症、がん、高血圧、糖尿病の予防に効果があると発表している。

観音寺市においての、ロコモティブシンドロームについての対策は。

【答弁】市としては、第二次ヘルスプランの推進会議の中の「身体活動・運動」グループによる貯筋活動を進めることにより日常生活の中に運動を習慣づけることで、生活習慣病や認知症を予防し、健康寿命を延ばすことを目指す取り組みのほか、介護予防事業の中で、筋力トレーニングやストレッチ体操等を行う介護予防教室を開催し、健康長寿に向けた取り組みを行っている。



大矢 一夫

アニメコンテンツ活用
地域活性化事業について

答 弁 単年度の取り組みに終わらず継続するようにしたい

【質問】(仮称)アニメ(結城友奈は勇者である)で地域活性化プロジェクト会議が開かれたと聞くが、これからのように進行していくのか？



©2014 Project 2H

【答弁】本市を舞台としたアニメがTV放映されたことから、ファンが多く訪れているが、ポスター等も何もなく、ファンを迎える態勢が整っていない。国の全額補助の地方創生加速化交付金を活用し、歓迎態勢を整えるとともに、イベント等を企画し交流人口の増加による地域活性化を図る。委託事業者とは近々契約する予定。

【質問】2年前に上市商店街振興組合が、1〜3話上映した。連続上映できないか？声優を呼んでのイベントやコスプレイベントは？市のHPを期間限定で「結城友奈」仕様に変えられるか？市営バスやタクシーに外側でなく中にシアナラッピングは？

【答弁】12話を放映又は上映することは必要。声優を招いてのイベント等の開催は、交流人口の増加を図る上で有効。HPやラッピングなど十分検討して可能な範囲で取り組む。単年度の取り組みに終わらず継続するようにしたい。



大久保隆敏

農業研修生支援について

答 弁 本市農業に合った効果的支援を検討する

【質問】農業は本市の基幹産業である。従事者の平均年齢が70歳を超え、更に最近生産資材も高騰し、依然厳しい状況である。しかし、国内外から研修生を受け入れ、必死で頑張っている若者が増加している。農業は、食料生産だけでなく、かけがえのない故郷の景観を守る役割を果たしている。現時点では本市農業を維持・発展させるためには、研修生に頼らなければならぬ。そこで、更に多くの研修生を受け入れるために宿泊施設をはじめ、生活環境の改善等が必要ではないか。

【答弁】外国人技能実習生は農業をはじめ、建設業、食品製造業などいろいろな業種(又は職種)に従事している。したがって、農業に従事する外国人研修生の生活環境だけを改善するのは難しい。本市の農業支援は、担い手の育成支援に関する補助、農業機械や施設への補助、土地改良事業関係係補助などを実施している。今後、どのような施策が本市農業にとって、より効果的な支援になるか総合的に考え、検討していきたい。





篠原 和代

公立保育所及び法人保育園等の受け入れ現状について

答 弁 待機児童はいない

【質問】公立保育所は、若干名受け入れが可能なのだが、法人保育園は定員以上の受け入れをしているのが現状。希望の保育所等へ入所できない、兄弟姉妹で別々の保育所等に通所しなければならぬ現状もある。そんな中、今後、育児休暇明け等で入所入園を希望する保護者への対応について伺う。

【答弁】昨年11月の入所申込み時に育児休暇後の入園希望の受付を実施。また、受け入れ確保のため、法に従って求職活動中の理由で受け入れをしている家庭の実態を調査し、適宜対応する。放課後児童クラブの受け入れ現状について

答 弁 市内8教室301名が利用。473名が登録

【質問】子ども達を取り巻く環境は多種多様化しており、友達関係、家庭環境、いじめ等を考えると放課後児童クラブ支援員と小学校との連携は必要不可欠だと思いが連携について伺う。

【答弁】厚生労働省「放課後児童クラブ運営指針」に沿って子どもの生活の連続性を保障するための情報交換や情報共有を行うなど、お互いに協力し、子ども達の健全な育成と遊び及び、生活の場の支援充実のために連携を図る。



大平 直昭

ふるさと納税のインターネット活用について

答 弁 6月1日から「ふるさとチョイス」活用開始

【質問】本市の「がんばれ観音寺応援寄附金制度」（観音寺市ふるさと納税）において、今年度からふるさと納税ポータルサイトの最大手「ふるさとチョイス」が活用できるようになったが、その概要と状況を伺う。

また、地場産業振興の観点からも返礼品の品揃えには力を注ぐべきかと考える。広報紙等を活用するなどして、事業者への積極的な取り組みの周知と募集を要請する。

【答弁】本年6月1日から、活用開始。インターネット上の情報発信に加え、当該サイトからの寄附申し込みを可能とし、クレジットカード決済も導入。ふるさと納税に係る事務を一括してふるさと納税代行業者に委託した。また、従来6品だった返礼品を見直し、74品に増やしている。6月1日からの12日間の申込状況は、寄附申込件数238件、寄附申込額236万円である。

返礼品については、市ホームページ、広報紙、ホッとメールなどで返礼品の募集を行うとともに、観音寺商工会議所、大豊商工会、香川県農業協同組合などにご協力をいただき、事業者への周知を行っていくなど、今後も引き続き拡充を図っていく予定である。

今年度の寄附額は1億円を目指している。（平成27年度寄附額1、242万円）



篠原 重寿

東日本大震災、熊本地震から何をまなぶ

答 弁 防災計画を見直し、職員研修、地域との連携を強化

【質問】熊本震災は、全国で大地震発生の可能性を示した。そこで、市の地域防災計画や業務継続計画の見直しと、震災時に計画が機能するための研修や訓練について伺う。

【答弁】「市業務継続計画」（平成24年策定）は、新庁舎移転もあり、本年5月に改定。「地域防災計画」は、専門家による熊本地震の分析結果や国県の新たな指針等を踏まえ検討。内容は、改めて周知徹底し、訓練など具体的な実施方法を検討。

自然な姿を残す琴弾公園を活用する取り組みは

答 弁 貴重な観光資源のイメージアップを図る

【質問】今秋の瀬戸芸を控え、多くの観光客が立ち寄る「琴弾公園周辺」のイメージアップ策と、それに見合った財源の確保について。

【答弁】多言語表示の案内板、トイレの洋式化、清掃に力を入れ、来訪者が増加している。管理費は県委託金の減少もあるが、県・市の協力でイメージアップに取り組む。





石山 秀和

投票用紙の宣誓書について

答 弁
 今回の選挙から入場券の裏面に期日前投票宣誓書兼請求書を印刷

【質問】 近年、期日前投票の利便性向上のために、入場整理券の裏面に宣誓書を印刷している自治体が増えてきている。今夏の参議院選挙から18歳以上の投票が出来るようになる。これまでも、提案した経緯があるが、その後どのようになっているのか？対応について伺う。



【答 弁】 今回の選挙から投票所入場券の裏面に期日前投票宣誓書兼請求書を印刷する。自宅で宣誓書の指定された部分に記入して持参頂き、一部記入確認することで受付がスムーズに行える。また、今回から入場券の表面に携帯電話、スマートフォン等で投票所の場所情報がわかるQRコードを追加したので投票所の位置がわからないという方は御利用頂きたい。これらについては、広報紙の6、7月号及び市のホームページにて、また、入場券と共に郵送する選挙ラシにて周知する。



安藤 康次

瀬戸内国際芸術祭2016について

答 弁
 山なみ芸術祭の活動の継続を

【質問】 かがわ・山なみ芸術祭は瀬戸芸2016パートナーシップ事業である。五郷地区の取り組みの総括と瀬戸芸につなげていくために、海・まち・里・山の一体感の醸成をして「いきいき輝くふるさと」の実現を図らなければならないがどう考えるか。

【答 弁】 かがわ・山なみ芸術祭観音寺市大野原町エリアの五郷地区での開催は、「人・渓谷・水の流域」をテーマに、21人の作家により28のアートやパフォーマンスが展開された。予想以上の人が訪れ、五郷地区の皆さんが携わっていただいたと思う。五郷地区の皆さんが携わって活動されたご苦労は大変だったと思うが、この地域の団結、活気はとても輝いて見えた。山の新緑や水車のまわる川のせせらぎ、そして迎えてくれる五郷の皆さんの笑顔が印象的だった。人口減少が顕著な地域であるが、つながり、かわかることで地域の活性化を生み、今後もうまくこの活動が継続できるように取り組んでほしい。



伊丹 準二

防災について

答 弁
 県の示した数量を目標に
 備蓄に取り組んでいる

【質問】 本市の防災備品備蓄状況・避難所・仮設住宅・仮設トイレ・炊き出し等について伺う。

【答 弁】 備蓄物資は県の示した数量を目標に取り組んでいる。防災センターなどで保管し、避難所へ配送する計画にしている。発災時には人員・道路確保等の状況に応じて臨機応変に対応したい。

避難所は75カ所あり、市内の福祉避難所は14カ所ある。遺体安置所については燧望苑を予定している。

仮設住宅の必要戸数は最大二千六百戸と推計し、公園・学校のグラウンド等を候補地としている。

仮設トイレはマンホールトイレを2カ所11基、簡易トイレを340基、処理袋3万袋を用意している。

炊き出し等については学校給食センターや学校、公民館等の調理設備を活用する予定にしている。

老後が住み易いまちづくりについて

答 弁
 市独自の貸付制度はない

【質問】 老後の不安の解消に、不動産を担保にした生活資金の貸与は可能か伺う。

【答 弁】 本市にはその制度はないが、厚生労働省に社会福祉協議会を通じた制度があり、要件を満たせば利用できる。



豊浦 孝幸

まち・ひと・しごと創 生総合戦略について

答 弁

企業競争力強化に向けた 施策に取り組み

【質問】 政府が提供している地域経済分析システム（RESAS）の活用について伺う。

このツールは政府が国民にも地域経済活動を見える化し提供しているシステムであり、当然本市職員も活用し地方創生戦略を立案していると思うが、そこで3点ほど伺う。

1点目、本市の地域経済循環率は何%か？

2点目、地域経済循環図から見て取れる本市の主要産業は？

3点目、経済循環率を上げるためどのような取組を考えているのか？

【答 弁】 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進において現状と課題の把握に利用しているが十分ではない。今後、政策部及び経済部局を中心に更なる活用ができるよう取り組みを進めたいと考えている。

1点目、地域経済循環率は86・9%で13・1%の所得が市外から流入している、依存している状態である。

2点目、付加価値額から見ると第1次産業が69億円、第2次が640億円、第3次が1、411億円である。本市の経済を生産面で支えているのは第2次・第3次産業だと考えられるが、本市の継続ある発展にはどの産業も欠かすことのできないものと考えている。

3点目、今後も地元企業の雇用の確保・ビジネスマッチングなど企業の競争力強化に向けた施策に取り組む。



藤田 均

大野原幼稚園のプールの 修繕を求める

答 弁

浄化設備や給水装置の充実 は高額なため、施設全体の 改修計画で検討する

【質問】 当幼稚園は、預かり保育を始めたため、プールは約250人が6月からお盆前まで使っている。

ところがプールはかなり古く、配管の水漏れ、水圧低下や水注入に時間がかかり、水質管理も近代的でないときいているが。

【答 弁】 る過機能を備えた循環設備がない。今年度、新たに設置した給水設備を活用し、こまめな水の入替による水質の向上、1日2回実施する水質検査及び塩素消毒の継続に取り組む。

80歳以上に1枚500円の福祉タ クシー券制度を

答 弁

状況を見ながら検討していく

【質問】 三豊市などでは80歳以上の方に1枚500円のタクシー券が年16枚配られている。合併で市役所や病院が遠くなり、市民の交通機関連守るのは大事な問題だ。本市でも福祉タクシー券制度ができないか。

【答 弁】 現在、のりあいバスの運行経路やデマンド型タクシーも含めた市民の交通機関連について調査・研究している。高齢者の交通手段についても検討していく。



五味 伸亮

老朽化した空き家対策 について

答 弁

今年度に空き家等対策計 画を策定

【質問】 ①社会的な要因から空き家が増加している。中でも、倒壊や防犯、環境面で不安のある特定空き家の増加が目立つようになった。住宅財産の管理は該当個人の責任だが、国では空き家対策に関する法令を整備し、県においても市が特定空き家の除却を実施する場合に県費補助という事業ができています。本市でも観音寺市空家等対策の推進に関する条例が制定されたが、対応を伺う。また条例で謳われている協議会の設置と実質的な対策までのスケジュールを伺う。

②危険な空き家の中で子どもたちが遊んでいたとの情報も聞いている。行政は勿論、学校や自治会、青色防犯パトロール隊等の地域組織と協力し、啓発に努めるなど、実質的な対策までの事故防止に取り組んでいただきたいと考えるが、市の考えを伺う。

【答 弁】 ①観音寺市空家等対策協議会は、今年8月までに最初の協議会を開催して計画の協議を行いたい。市内全域の実態調査については年内に終える予定であり、実態調査をもとに総合的計画を策定する。

②現状確認のうえ所有者等を調査し、文書等にて適正管理の指導を行う。また、関係機関への協力や啓発も必要に応じて対応する。

掲載できなかった一般質問

氏名	質問件名
諫間 茂	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て貧困世帯について ●高齢者の労働について ●朝食抜きのリスクについて ●市道の整備について
大矢 一夫	●瀬戸内国際芸術祭について
大平 直昭	●新市民会館の多目的ホールについて
篠原 重寿	●子育て支援策について
石山 秀和	<ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと納税について ●中小企業支援について ●地震対策について ●生ごみについて ●琴弾公園の観光客の誘導について ●出産・子育て支援について
安藤 康次	●防災（地震）対策について

氏名	質問件名
伊丹 準二	<ul style="list-style-type: none"> ●行政施設の利活用について ●社会教育への青年の参加について
豊浦 孝幸	●文化芸術拠点施設整備事業について
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ●熊本地震を教訓にすることについて ●TPPの影響調査について ●地方創生、小規模企業対策としてのリフォーム助成制度の創設について ●子どもの医療費を18歳まで無料にする提案について ●格差初診料5,000円の説明広報について ●介護保険の施設入所の、補足給付のさらなる見直しについて
五味 伸亮	<ul style="list-style-type: none"> ●熊本地震の市の支援について ●観音寺保育所について

継続審査分1議案。全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。



教育委員会関係1議案。全会一致で承認すべきものと決定した。



総務部関係3議案。全会一致で承認すべきものと決定した。



上下水道部関係1議案、経済部関係1議案。全会一致で原案のとおり可決・同意すべきものと決定した。



市民部関係1議案、政策部関係2議案、総務部関係1議案。全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。



行政視察の報告

総務委員会 視察報告

日程 5月10日～12日

場所・事項 愛知県尾張旭市

●あさひ AED サポートについて

①公共施設に AED を設置し、平日の緊急時に対応している。また、消防本部に 2 台の AED を準備し市内イベントや各種団体の行事の際には貸出しを実施している。

②市内事業所（企業）の協力を得て、各事業所が所有する AED を登録していただき、緊急時には無償で貸出しをしていただけるよう協定を締結している。また、市内全てのコンビニに AED を設置し、24 時間いつでも緊急時に活用できるようにしている。実際にコンビニの AED が活用され一命を取留めた市民の方もいるとのことである。

愛知県一宮市

●市民が選ぶ市民活動支援制度について

市民の自主的かつ営利を目的としない社会貢献的な活動を行う団体で、主として一宮市民を対象とする事業を実施するものに対し、報償費、旅費、需用費、役務費、使用料、備品費、人件費及び賃借料のうち一定の要件を満たすものに対象経費の 2 / 3 に相当する金額の補助を行う。事業の選定は 18 歳以上の市民に 1 票の投票権を与え、市民が推薦する事業に票を投じることで選ばれた事業に対し、投票数に応じた額の補助を行っている。



▲一宮市

滋賀県近江八幡市

●ふるさと納税制度について

平成 26 年度からクレジット決済の導入や専門サイトを通じた PR など大きな成果をあげている。また、謝礼品についてはポイント制カタログギフトをいち早く導入しており謝礼品の充実と還元率なども充実している。納税額については平成 26 年度 1 億 2 千万円、27 年度 7 億 3 千万円、今年度は 10 億円の見込みがあり、毎年成果を上げている。

●あかこんバス運行事業について

民間の路線バスが運行されているが、その路線でカバーできない交通空白地を市民バスでカバーをしている。マイクロバス 1 台、12 人乗りバス 12 台と台数を多くし、きめ細かな路線運行を行い、特に高齢者が利用しやすいように工夫がされている。利用者数についても年々微増しており充実していることがわかった。

大阪府大阪市

●職員基本条例について

地方公務員法に定める根拠基準に従った健全な人事制度を構築し、これを公正かつ厳格に運用するために必要な事項を定めている。

●防災アプリ活用事業について

災害の時間経過に応じた情報収集を行い、避難所マップは勿論のこと、各区の災害情報や注意報、警報情報も配信され市民の安全が守られるよう常時最新情報が更新されている。



▲大阪市防災アプリ

文教民生委員会 視察報告

日程 5月16日～5月18日

場所・事項 長野県長野市

●認知症初期集中支援チームについて

専門家が認知症を疑われている方や家族を訪問しアセスメント、家族支援などの初期段階での支援を包括的、集中的（おおむね6ヶ月）に行い自立生活のサポートを行っている。

東京都西多摩郡日の出町

●お年寄りに優しい3つの福祉施策について

木崎副町長、東議長が参加され、政治レベルの話に至るまで聞くことができた。平成20年敬老福祉大会にて前町長が日本一お年寄りに優しい町づくり宣言を発表したことがきっかけ。

- 75歳以上の方医療費免除
- 70～74歳の方医療費助成
- 70歳以上の方の人間ドックの無料受診

日本学生トライアスロン連合（東京都）

●概要及び陳情等について

今年が10回目（平成19年から観音寺市で開催）学生トライアスロンの引き続いての開催をお願いに行き、宇佐美会長、林事務局長等にお会いした。

学生の中にも「観音寺を目指して頑張ろう」との意識が強くなり定着しているという言葉もいただいた。

このトライアスロン開催をきっかけに、国内に於いて行われるオリンピック、パラリンピック、ラグビーワールドカップの事前合宿地（キャンプ）も視野に入れた誘致活動をされたらどうかとの提案をいただいた。



▲長野市

広聴広報委員会 視察報告

日程 4月27日～4月28日

場所・事項 鳥根県浜田市

●議会報告会、地域井戸端会について

議会活動を積極的に公開し、市民の意見を議会に反映させるための議会報告会『地域井戸端会』を行っている。

市民と議員の『対面式』を重視。会場を4～5ブロックに分け、議員と市民が直接話し合う形式としている。

参加者の多くが意見を言え、議員もその後の議会での質問に活用している。若年層の参加の増員が今後の課題である。

鳥取県大山町

●町村議会広報全国コンクール2位の手法を学ぶ。

住民目線で簡潔に表現し、以下の3点を重視している。

- ①市民の人にいかに手に取ってもらえるか
- ②住民目線で読みやすい内容にする
- ③会議録や活動報告でなく、情報誌を目指す

6月と12月は、町内の企業・団体取材して、特集記事を掲載している。

一般質問の記事も余白を持たせて、すっきりとした配分になるようにしている。

町外の大山町を応援してくれる人に、ファンクラブの会員になってもらい、広報紙と議会だよりを送っている。



▲浜田市・大山町の議会だより

審議結果

議案の審議結果 平成28年第2回（4月）臨時会

●全会一致の議案

議案番号等	議案名	議決結果
(継続審査分) 議案第51号	平成28年度観音寺市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第54号	専決処分の承認について（観音寺市税条例等の一部を改正する条例）	承認
議案第55号	専決処分の承認について（観音寺市都市計画税条例の一部を改正する条例）	//
議案第56号	専決処分の承認について（観音寺市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	//
議案第57号	専決処分の承認について（平成27年度観音寺市一般会計補正予算（第5号）	//

●賛否の分かれた議案

議案名等	議員名														議決結果																											
	豊浦	篠原	友枝	井下	詫間	藤田	五味	篠原	立石	伊丹	安藤	大平	井上	大矢		大賀	秋山	石山	安藤	大久保	高橋																					
	孝幸	和代	俊陽	尊義	茂	均	伸亮	重寿	隆男	準二	康次	直昭	浩司	一夫	正三	忠敏	秀和	忠明	隆敏	照雄																						
	民政	民政	民政	民政	自民	共産	立志	社民	民政	民政	民政	友志	友志	自民	民政	民政	公明	公明	立志	立志																						
決議案第1号	高橋照雄議員に対する問責決議について																				○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-	●	退	原案可決	
決議案第2号	五味伸亮議員に対する問責決議について																				○	○	○	○	○	●	退	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-	●	●	//

※議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※○…賛成 ●…反対 退…退席

議案の審議結果 平成28年第3回（6月）定例会

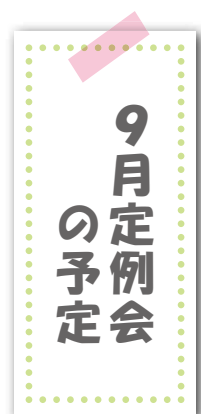
●全会一致の議案

議案番号等	議案名	議決結果
議案第58号	観音寺市消防団の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第59号	観音寺市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結について	同意
議案第60号	平成28年度観音寺市一般会計補正予算（第2号）	原案可決

視察に来てくれました

- ◆平成28年4月28日
埼玉県入間市議会
「市庁舎・市民会館の建て替えについて」
- ◆平成28年5月10日
兵庫県加古郡稲美町議会
「豊稔池の魅力発信と地域づくりについて」

28日	21日	20日	16日	12 15日	8 9日	2日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	決算審査	本会議（一般質問）	本会議



市民フォーラム2016開催 高校生と考えるこのまちのミライ

今年から選挙権年齢が18歳以上からとなり、全国で240万人の若者が政治参加できるようになりました。我がまちでも1,000名を超える若者が新有権者となりました。

今回は、政治が身近になった高校生と一緒に、このまちのミライについて考えたいと思います。

日時 8月25日(木)
13:30~15:00

会場 観音寺市役所5階
本会議場

参加者 地元高校生代表
市議会議員



高校生が議員に質問・提案、意見交換

- 市政についての疑問
- 若者のまちづくり参加
- 高校生の自由な提案 など

市民の皆様も傍聴できます。

広聴広報委員会

委員長 伊丹 準二
副委員長 石山 秀和

篠原 重寿
大平 直昭
井下 尊義
五味 仲亮
豊浦 孝幸

編集後記

今回の議会だよりは、6月定例会の内容が中心です。

議員からの一般質問は多岐にわたり、市政全般について様々な質問がされました。

本市にとりまして、身近な問題ばかりであり、ぜひ質問・答弁に目を通して頂ければと思います。本市の三大プロジェクト(統合小学校・市役所・市民会館建設)完成を間近に控え、市民の皆様とのまちづくりに全力で取り組んでまいります。